



November 2003 No. 43

(本部事務局)(財)日本特産農作物種苗協会内 〒107-0052 港区赤坂 2-4-1  
(つくば事務所) 農業情報学会内 JRTつくば事務所  
〒305-0034 茨城県つくば市小野崎 143-3  
TEL 029-856-8708 FAX 029-856-0024  
<http://www.jrt.gr.jp>

## 第 8 回総会の概要

日本いも類研究会事務局

第 8 回日本いも類研究会総会は、去る 10 月 31 日、アーバンホテル太田市場において概ね 50 名の会員の参加を得、開催されました。

今回の総会は、従来の単独開催を改め、試行的に(財)いも類振興会が主催した「ばれいしょ・かんしょシンポジウム」と一体的に開催したところです。

総会では、平成 15 年度事業報告・収支決算、16 年度事業計画(案)・収支計画(案)、会則改正(案)、役員改正(案)が提案され、全て承認されたところです。

今回の、「ばれいしょ・かんしょシンポジウム」とのジョイントについては、参加会員の反応は概ね肯定的だと感じましたが、一方で、シンポジウム及び総会の御案内時期が比較的遅かったという反省もあります。来年度につきましては、基本的には今年度同様の開催方法とし、シンポジウム及び総会の御案内を早めに行えるよう努力して参ります。

なお、「ばれいしょ・かんしょシンポジウム」の内容については、(財)いも類研究会で作成予定の報告書を参考に、ニュースレターで会員への報告を行うこととしています。

## 平成 15 年度事業報告及び収支決算書

### 1 平成 15 年度事業報告(一部今後の計画含む)

日本いも類研究会の運営については、本年 3 月に開催した第 7 回総会の質疑の中で、「IT 弱者への対応等事務局提案については、アンケート調査を行い会員の意向を的確に反映させること。」というご指摘をいただいたことを受け、本年度、「日本いも類研究会の運営の効率化についてのアンケート調査」を行い 6 月に取りまとめたところ、調査結果については、会員に送付するとともに 15 年度事業に積極的に反映するよう努めているところである。

#### ホームページの運営

- ・ さつまいも館長日記、じゃがいもに関する研究成果、じゃがいも品種詳説、じゃがい

も Mini 白書、おいも Q&A 等のコンテンツを更新・充実した（一部作成中）。

- ・ じゃがいも及びさつまいものメーリングリストにおいて、メンバー間の情報交流を行った。また、JRTWeb の質問箱に寄せられた問い合わせに対し、メーリングリストに照会するなどして回答し、情報交流に努めた。
- ・ ニュースレターの掲載を会員ページから公開ページに変更し、研究会の活動状況を広く PR することとしている。
- ・ 会員名簿の掲載については、会員コード、会員氏名、都道府県名、所属機関名を明記した別紙会員名簿（別紙 1：会員のみ別紙で送付、なお、掲載内容及び掲載の有無は会員ごとに希望を尊重）を会員ページに掲載する。なお、会員名簿の訂正は毎年度 1 回程度実施するものとする。
- ・ 法人会員名簿についても、アンケート結果に沿って年度内に会員ページに掲載する（別紙 2）。

#### メーリングリストの運営

- ・ じゃがいもメーリングリスト及びさつまいもメーリングリストを一本化する。
- ・ 非会員のメーリングリスト参加者の会員参加を呼びかけた上で、非会員についてメーリングリストからの登録を抹消する。

#### 試験栽培の実施

- ・ さつまいも新品種試験栽培を実施し、「パープルスイートロード」、「クイックスイート」、「ベにまさり」、「サニーレッド」、「コガネセンガン」の 5 品種を試験希望者（274 人、449 セット）に提供し、新品種等の普及に努めた。
- ・ また、16 年に向け「パープルスイートロード」、「クイックスイート」、「ベにまさり」、「すいおう」、「アヤコマチ」の 5 品種の試験栽培を計画、近日中に案内を発送予定。
- ・ じゃがいも新品種試験栽培を実施し、「十勝こがね」、「インカのめざめ」、「ベニアカリ」、「キタアカリ」、「ホッカイコガネ」の 5 品種を試験希望者（258 人、433 セット）に提供し、新品種等の普及に努めた。
- ・ また、16 年に向け「さやか」、「アイノアカ」、「花標津」、「ユキラシャ」、「インカのめざめ」の 5 品種の試験栽培を計画、近日中に案内を発送予定。

#### ニュースレターの発行

- ・ いも類に係る情報を内容としたニュースレターを発行（10 月末現在 41 号～42 号）し、会員を中心に配付を行った。今後は、平成 15 年度登録予定のばれいしょ・かんしょ新品種情報や「ばれいしょ・かんしょシンポジウム」開催報告等を掲載予定。
- ・ ニュースレターの JRT ホームページへの掲載については、会員ページへの掲載を公開ページへの掲載に変更する。
- ・ ニュースレターの送付については、これまで、郵送、ファックス、Eメールの 3 方法

で行っていたが、今年度から郵送とメールの2方法に整理した。10月末現在の送付方法は次のとおり。

	計	Eメール	うちファイル送付	郵送
普通	211	123	49	88
賛助	35	25	11	10
計	246	148	60	98

- 研究会事務の縮減には、郵送希望会員をEメール希望に変更してもらう必要があることから、Eメール希望者へのメリット措置として、Eメールによるニュースレター送付を希望されている会員（10月末現在60会員）の中で、農水省特産振興課いも類班からの情報提供（いも類ニュースの送付）も希望される方には対応を検討する予定。なお、いも類班からの情報提供はPDFファイル送付及びホームページへの掲載となっており、郵送対応は行われていない。

#### じゃがいも MiNi 白書の発行

- 「じゃがいも MiNi 白書」について内容を更新・拡充し配付した。

#### 総会の開催

今年度の総会については、財団法人いも類振興会が主催した「ばれいしょ・かんしょシンポジウム」(H15.10.31 アーバンホテル太田市場)の開催に併せ実施した。また、シンポジウムの概要については別途作成予定の報告書を会員に配付することとしている。

#### 会員の参加状況

15年度会費納入会員数は、10月末現在で普通会員211名、賛助会員35社・団体となっている。今年度の会費納入依頼文書は、前前年度会費納入会員まで送付した。

#### 会費納入会員数の推移

	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15
普通	99	175	236	268	298	294	218	211
賛助	14	23	30	34	42	45	38	35

#### 会員の発案による事業

総会開催に併せ、太田市場見学会を実施。

## 2 平成15年度収支決算(10月31日見込み)

## 《収入の部》

(単位:円)

	予算額	決算(予定)額	増減	備考
1. 前年度繰越金	1,986,786	1,986,786	0	
2. 会費収入	2,160,000	2,052,000	108,000	
・普通会員会費	630,000	762,000	132,000	254名×3,000円
・賛助会員会費	1,530,000	1,290,000	240,000	35社・団体
4. その他収入	0	9	9	利息収入
合計	4,146,786	4,038,795	107,991	

## 《支出の部》

(単位:円)

	予算額	決算(予定)額	増減	備考
<b>事業費</b>				
1. 資料編集・配布費	2,034,000	1,821,547	212,453	
・通信運搬費	429,000	216,547	212,453	
・MiNi白書作成費	4,000	4,000	0	
・消耗品費	423,000	210,547	212,453	300冊
	2,000	2,000	0	
2. 情報システム構築費	670,000	670,000	0	
・ネットワーク参加費	420,000	420,000	0	
・いも類情報発信システム構築・運営費	100,000	100,000	0	
・通信運搬費	150,000	100,000	0	
3. 試験栽培費等	170,000	170,000	0	
・試験栽培等活動費	170,000	170,000	0	
・業務委託費	0	0	0	
4. 総会費	265,000	265,000	0	シンポジウム報告書作成費 含む
5. 会員発案事業費	500,000	500,000	0	
<b>管理費</b>	600,000	600,000	0	
1. 業務委託費	600,000	600,000	0	農業情報コンサルティング(株)
2. 消耗品費	0	0	0	
小計	2,634,000	2,421,547	212,453	
予備費	1,512,786	0	1,512,786	
次年度繰越	0	1,617,248	1,617,248	
合計	4,146,786	4,038,795	107,991	

### 3 平成15年度臨時会費関係収支決算

#### 《収入の部》

・前年度繰越 180,521 円

#### 《支出の部》

・ - 0 円

・残金 180,521 円

#### 《残金処分案》

残金 180,521 円については、次年度に繰り越します。

### 4 会計監査について

今回は年度半ばであり未執行の予算が多いため、会計監査については今年度末終了時点で担当幹事の監査をお願いします。なお、最終的な収支報告については、監査終了後、会員あて報告書を作成し送付することとします。

### 賛助会員名簿の日本いも類研究会ホームページへの掲載についてのアンケート結果及び対応方針

日本いも類研究会では、15年度から普通会員名簿をホームページの会員ページに掲載することとしました。これに合わせ、賛助会員名簿についてもホームページに掲載することを検討しているところです。

については、賛助会員の皆様方の御意見を把握するため、アンケート調査を行い、結果がまとまりましたので、お知らせします。

#### 【アンケート回収状況】

配付数 44

回答数 23

回答率 52%

#### 【設問への回答状況】

Q1 名簿の掲載に賛成か。

	回答率
賛成	91
反対	9

Q 2 掲載するとすれば会員ページか公開ページか。

		回答率
	会員ページ（会員のみ閲覧可）	59
	公開ページ（だれでも閲覧可）	41

Q 3 掲載するとした場合、掲載可能な項目を教えてください。（複数回答）

		回答率
	会社名	96
	代表者名	78
	本社住所	83
	営業概要	61
	ホームページアドレス	57

Q 4 貴社ホームページにリンクを貼ることは可能か。

		回答率
	可能	63
	不可	37

【アンケート結果による対応方向】

1 名簿の掲載

会員ページに掲載する。なお、掲載の有無については、各会員の希望を尊重する。

2 掲載項目

掲載項目は、会員コード、会社名、代表者名、本社住所、事業概要、ホームページアドレスとする。なお、掲載項目については各会員の希望を尊重する。

3 会員が開設しているホームページとのリンク

希望会員のみリンクするものとする。

4 会員名簿掲載様式

日本いも類研究会会員名簿（法人会員）

会員コード	法人等名	代表者名	本社等住所	事業概要	ホームページアドレス

5 今後の予定

総会終了後、各法人会員担当者に対して名簿に掲載する項目について実際の記入内容を調査する。

名簿掲載は年度内に行う。

(参考)

日本いも類研究会によるかんしょ、ばれいしょ試験栽培実績

【かんしょ】

品種名	試験年度	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004(予定)
ヘルシーレッド									
ベニサツマ									
アヤムラサキ									
ベニオトメ									
種子島紫									
コガネセンガン									
ジェイレッド									
エレガントサマー									
春こがね									
サニーレッド									
タマオトメ									
ムラサキマサリ									
パープルスイートロード									
クイックスイート									
べにまさり									
すいおう									
アヤコマチ									
延べ品種数	17	6	5	5	5	5	5	5	5
配付実績	配付者数				354	323	344	274	
	配付セット数				450	490	608	449	

【ばれいしょ】

品種名	試験年度	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004(予定)
ベニアカリ									
キタアカリ									
とうや									
アンデス赤									
さやか									
ホッカイコガネ									
アイノアカ									
ワセシロ									
スタークイーン									
普賢丸									
ムサマル									
ジャガキッズレッド90									
ジャガキッズパープル90									
エスペランサ・ピオレータ									
花標津									
ユキラシャ									
インカのめざめ									
十勝こがね									
延べ品種数	18		3	5	5	6	4	5	5
配付実績	配付者数				229	371	324	258	
	配付セット数				449	477	471	433	

1 平成16年度事業計画

ホームページ・メーリングリストの運営

JRTWebの更新・充実、質問箱への対応を行う。併せて、一本化されたメーリングリストの円滑な運営を行う。

試験栽培の実施

本年同様、種苗会社（研究会会員）の協力の下、新品種を中心としてじゃがいも及びさつまいもの試験栽培を実施する（各5品種程度を対象とする。）。

ニュースレターの発行

年6回程度を目標にニュースレターの発行、JRTWebへの掲載を行う。

なお、ITの利用環境が整備されている会員に対しては、Eメールによる発行通知又はファイル送付を行うとともに、それ以外の会員に対しては郵送する。

また、会員からの活動報告、近況報告等の提出を呼びかけ、会員の声として掲載を推進する。

さつまいもMINI白書の発行

16年度はさつまいもMINI白書を発行する。なお、MINI白書については追加送付の要望が多いことから、15年度より追加分については有償（印刷実費＋送料相当分）により対応することとした。また、配付時期は総会時（総会不参加会員には総会資料とともに郵送）とする。

総会の開催

16年度定期総会については、平日を目途に東京で開催を計画するが、開催時期については、独立行政法人農業技術研究機構が中心となって開催するシンポジウムとの連携を基本とする。

会費納入及び会員管理

会費納入案内、会員管理事務を次のとおり行う。

- ・ 会費納入案内は4月に送付することとし、納入期限は6月末日とする。
- ・ 会費納入案内時には、払込取扱票とともに会員住所変更届、名簿登録変更届を同封し、的確な会員管理に努めるものとする。
- ・ 会費未納入会員への注意喚起は、前年度会費を納入している会員のみとし、7月に郵送で行うこととする。



- ・ 当該年度の翌年度の6月末までに会費の納入がない場合は、退会希望とみなし、その後の資料送付等行わないこととする。

#### 会員の発案による事業の実施

日本いも類研究会は、会員個々が研究会に積極的に参加することにより運営の活性化を図るため、16年度についても会員発案による事業を実施することとする。

なお、事業の実施に当たっては以下の要件を満たすこととし、基本的には申し出の早い順に採択するものとする。

- ・ 基本的にいも類の生産・流通・消費の拡大を目指す内容のものであること（イベントの案内や会員への資料送付は事務局も協力）
- ・ 人件費、旅費及び機械施設整備費は経費の対象としないこと（講演等を実施するための講師旅費、謝金等は可）
- ・ 予算の範囲内での事業規模を基本とすること（本年度は1事業25万円程度×2事業の予算を想定する）
- ・ 事業の実施希望会員は、事業計画及び収支計画を事務局に提出するとともに、事業が終了した場合は遅滞なく事業実績報告（資料であれば印刷物）及び経費請求書を事務局に提出すること

## 2 平成16年度収支計画（案）

### 《収入の部》

（単位：円）

	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1. 前年度繰越金	1,617,248	1,986,786	369,538	
2. 会費収入	1,935,000	2,160,000	225,000	
・ 個人会員会費	645,000	630,000	15,000	215名×3,000円
・ 法人会員会費	1,290,000	1,530,000	240,000	35社・団体
4. その他収入	0	0	0	利息収入
5. 臨時会費繰入	180,521	0	180,521	熱帯いも類学会寄付金残
合 計	3,732,769	4,146,786	414,017	

## 《支出の部》

(単位：円)

	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
事業費	1,978,400	2,034,000	123,000	
1.資料編集・配布費	306,000	429,000	123,000	
・通信運搬費	4,000	4,000	0	
・MiNi白書作成費	300,000	423,000	123,000	400部
・消耗品費	2,000	2,000	0	
2.情報システム構築費	670,000	670,000	0	
・ネットワーク参加費	420,000	420,000	0	
・いも類情報発信システム構築・運営費	100,000	100,000	0	
・通信運搬費	150,000	150,000	0	
3.試験栽培費等	70,000	170,000	100,000	
・試験栽培等活動費	70,000	170,000	100,000	
・業務委託費	0	0	0	
4.総会費	432,400	265,000	167,400	報告書作成
5.会員発案事業費	500,000	500,000	0	250,000×2件
管理費	600,000	600,000	0	
1.業務委託費	600,000	600,000	0	農業情報コンサルティング(株)へ
2.消耗品費	0	0	0	
小 計	2,578,400	2,634,000	55,600	
予備費	1,154,369	1,512,786	358,417	
次年度繰越	0	0	0	
合 計	3,732,769	4,146,786	414,017	

## 日本いも類研究会会則改正(案)

## 第4条について

「2.いも類に関する研究会等の開催及び支援」の後に、「3.いも類新品種等の試験栽培の実施」に改正。併せて「3.その他・・・」を「4.その他・・・」に条項移動。

(改正理由) 研究会設立時より毎年実施している試験栽培を研究会の中核的事業として位置付け。

#### 第5条について

「本会を構成する会員は、本会の目的に賛同する個人の普通会員と、法人の賛助会員とし、……」を「本会を構成する会員は、本会の目的に賛同する個人会員と法人会員とし、……」に改正

「1. 普通会員 3千円」を「1. 個人会員 3千円」に改正

「2. 賛助会員 3万円を1口とし、1口以上」を「2. 法人会員 3万円を1口とし、1口以上」に改正

(改正理由) 法人会員を正規の会員に位置付け。

#### 第8条について

「幹事及び会計監査は、総会において選任し、幹事は会長、副会長を互選する。」を「会長、副会長、幹事及び会計監査は総会において選任する。」に改正。

(改正理由) 現状でも、会長、副会長は総会において選任されている。

#### 第9条について

「なお、議決権は、個人会員、法人会員を問わず、1会員1議決権とする。」を必要に応じて……の前に挿入する。

(改正理由) 法人会員の議決権を位置付ける必要があるため。

### 日本いも類研究会運営内規改正(案)

#### 1. 会員について

「1. 会員について 本会は普通会員による個人としての立場での活動を基本とし、賛助会員については代表者1名に限って普通会員として登録し普通会員の会費を免除することが出来る。」を全削除する。

(改正理由) 賛助会員についても法人会員として正規会員に位置付けることから不要。

#### 2. 会議について

「2. 会議」を「1. 幹事会」に変更する。

#### 3. 新たな条項の創設

「1. 幹事会」のあとに、

「2. 法人会員のメーリングリスト登録者の上限

法人会員は、会費一口当たり10名をメーリングリストに登録できるものとする。」を挿入する。

(創設理由) 法人会員のメーリングリスト加入枠を拡大(昨年度までは1賛助会員1名)しメーリングリストの活性化を図るため。

### 「3. 会員への資料の送付

本会の会員への資料の送付、総会の案内等は、会費を支払った翌年度の会費支払期限まで行うものとする。」を挿入する。

(創設理由) 現在、会員としての権利は、会費支払い年度の翌年度末までとなっているが、これは、会費の納入期限は明確ではないことに起因すると考えられ、このことが事務の効率性を欠くこととなっていた。15年度から年度内に会費支払期限を設け、会員管理を行っており、事務局の円滑な事務処理を行う上で、会費未払い会員の会員としての権利を前年度の会費支払期限の概ね1年後に制限し対応する必要があるため。

### 「4. 研究会が行う基本的事業

本会では、毎年、

(1)ホームページの運営

(2)メーリングリストの運営

(3)新品種試験栽培の実施

(4)ニュースレターの発行

(5)「さつまいも MiNi 白書」、 「じゃがいも MiNi 白書」の編集・発行(隔年交互発行)

を必ず行うこととする。」

(創設理由) 研究会運営について、事務局担当者の異動等により運営の連続性が失われないように措置する必要があるため。

## 日本日本いも類研究会役員改選(案)

### (平成15年度) 旧

事務局長 矢野 勇夫 日本特産農作物種苗協会専務理事

### (平成16年度) 新

幹事 吉永 優 独立行政法人農業・生物系特定産業技術研究機構九州沖縄農業研究センター畑作研究部サツマイモ育種研究室長

事務局長 上野 幸一 日本特産農作物種苗協会専務理事

(参考) <平成 16 年度役員一覧>

会 長	井 上 浩	川越サツマイモ資料館長
副 会 長	岩 井 菊 之	有限会社菊水堂代表取締役
幹 事	中 谷 誠	独立行政法人農業・生物系特定産業技術研究機構作物研究所畑作物研究部甘しょ育種研究室長
同	吉 永 優	独立行政法人農業・生物系特定産業技術研究機構九州沖縄農業研究センター畑作研究部サツマイモ育種研究室長
同	森 元 幸	独立行政法人農業・生物系特定産業技術研究機構北海道農業研究センター畑作研究部ばれいしょ育種研究室長
同	入 谷 正 樹	北海道立北見農業試験場作物研究部馬鈴しょ科長
同	中 尾 敬	長崎県総合農林試験場愛野馬鈴薯支場育種栽培科長
同	矢 野 哲 男	農林水産省九州農政局統計部統計調整課長
同	千 田 圭 一	北海道立植物遺伝資源センター
同	丹 羽 優 治	独立行政法人種苗管理センター品種特性審査官
同	郷 家 一 広	独立行政法人種苗管理センター計画課種苗生産計画係長
会計監査	西 澤 治	株式会社ジャパポテト副社長
顧 問	浅 間 和 夫	ホクレン種苗園芸部園芸総合課主任技師
同	石 田 善 吾	(株)エーコープライン監査役
同	梅 村 芳 樹	むらづくりアドバイザー
同	斎 藤 興 平	株式会社川小商店代表取締役
同	菅 原 龍 幸	聖徳大学教授
同	田 中 智	カルビーポテト株式会社参与
同	田 中 晃	(株)北海道ファームプロダクツ
同	津久井 亜紀夫	東京家政学院短期大学教授
同	中 本 賢	みかど農産株式会社代表取締役
事務局長	上 野 幸 一	日本特産農作物種苗協会専務理事